

【小中高生の交通事故による救急搬送統計について】

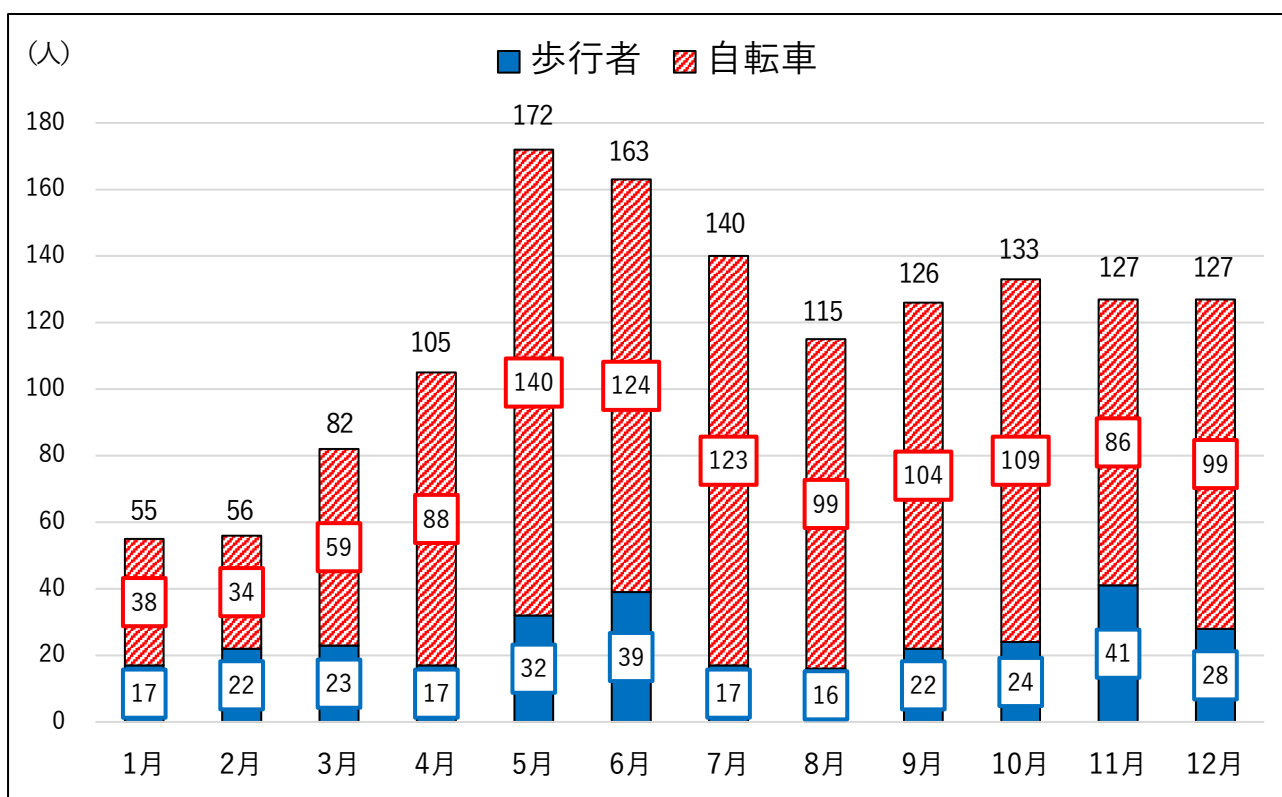
過去10年間（2010年から2019年まで）、小学生から高校生までの児童・生徒が交通事故によって救急搬送された事案（歩行または自転車に乗車中の事故）について、統計分析を行いましたので公表します。 ※ 小数点を含む数値は、小数点第二位を四捨五入しています。

1 月別の救急搬送人員

救急搬送人員を月別に比較すると、「5月」が最も多く172人（12.3%）、次いで「6月」が163人（11.6%）となります。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学校休業や外出自粛により件数が大幅に減少していましたが、緊急事態宣言の解除に伴い、徐々に普段の生活に戻ることから、今後の件数増加が予想されます。

図1



2 時間帯別の救急搬送人員

救急搬送人員を時間帯別に比較すると、「7時台」が最も多く197人（14.1%）、次いで「16時台」が164人（11.7%）、「8時台」が160人（11.4%）と続きます。

登下校の時間帯に多く救急搬送されている傾向があることが分かります。

また、「歩行者」と「自転車」をそれぞれでみると、「歩行者」では「下校時間」に、「自転車」では「登校時間」に最も大きなピークがあることが分かります。

図2-1

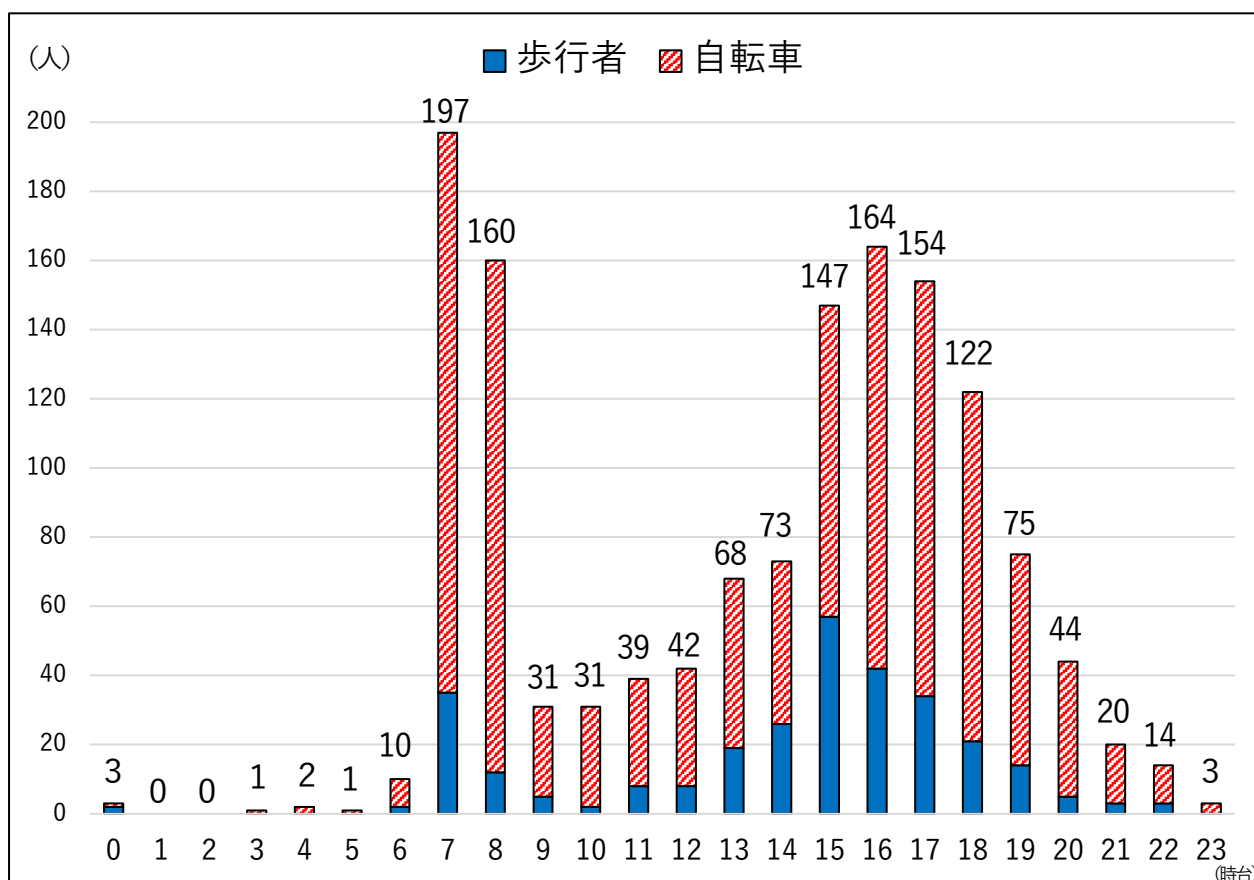


図2-2

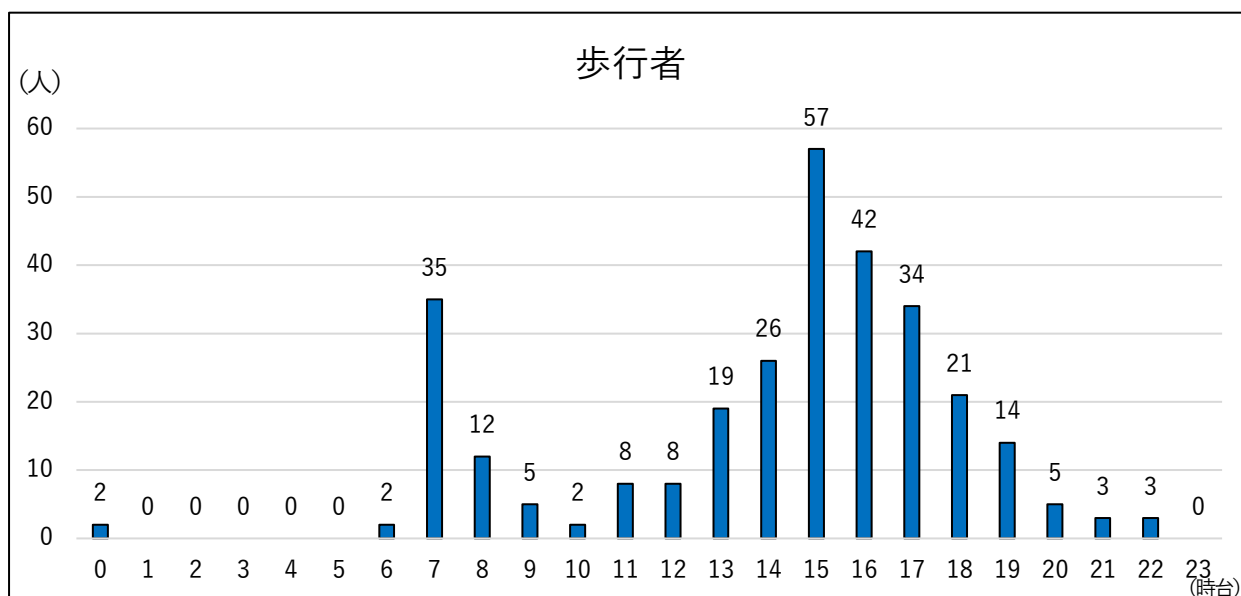
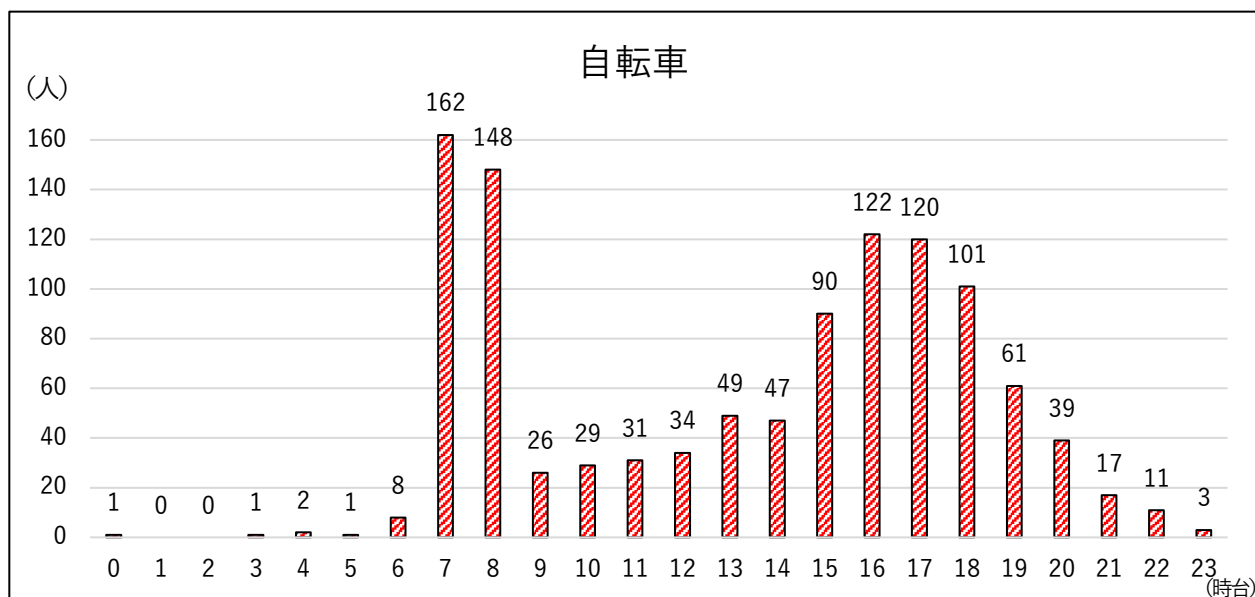


図2-3



3 曜日別の救急搬送人員

救急搬送人員を曜日別に比較すると、「金曜」が最も多く 257 人 (18.3%)、次いで「水曜日」が 232 人 (16.6%)、「木曜」が 225 人 (16.1%) と続きます。

図3

